

NEWS 港湾ニュース

■ 苫小牧港開港 50 周年記念

苫小牧港管理組合 企画振興課

苫小牧港は、今年、昭和 38 年の開港から 50 年を迎え、苫小牧港の歴史を振り返り、先人の功績や港湾の果たしてきた役割を国内外に広く周知するとともに、グローバル経済や国際物流の動向に迅速に対応する国際拠点港湾として新たな価値や魅力の創出を目指し、苫小牧港の未来を自ら切り開く意識と発信力を高める契機とするため、苫小牧港開港 50 周年記念事業実行委員会を設置し、記念事業を実施しました。ここで、主な記念事業を紹介します。

苫小牧港開港 50 周年 「開港記念日セレモニー」

苫小牧港に第一船が入港してから 50 年を迎える記念の日として、4 月 25 日に各種記念事業の幕開けを告げるイベントとして、北ふ頭キラキラ公園において「開港記念日セレモニー」を実施致しました。

50 年前の入船式が行われた時間に向けてのカウンタダウンを行い、花火の打ち上げ、在港船汽笛一斉吹鳴、タグボート・海上保安部巡視艇によるカラー放水と風船の掲揚を行いました。

港湾関係者、行政関係者、一般市民など、約 500 名の方に来ていただき、盛況のうちにセレモニーを終了することができました。



記念シンポジウム

「苫小牧の経済発展と大学の地域貢献」

苫小牧駒澤大学との共催により、記念シンポジウムを開催しました。

港湾都市に必要な人材育成等をテーマに、基調講演、

パネルディスカッションを開催し、200 名以上の市民の方に参加していただきました。



「フェリーを活用したショートクルーズ&船内見学会」

「苫小牧～八戸」間に就航する新造船フェリー「シルバーエイト」を利用し、一般市民 310 名が参加し、2 時間のクルージングを実施しました。





また、同じく苫小牧港に寄港しているフェリーを活用した船内見学会も行われ、たくさんの市民が参加されました。

帆船「海王丸」、「第3回みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会 in 苫小牧」

開港 50 周年記念として、航海訓練所の帆船「海王丸」が、7月12日から16日まで寄港しました。

多くの貨物船などを日常的に目にする市民にとって、広い海洋に思いをはせながら帆船を目の当たりにすることは、新鮮でかつ興味深いことであり、帆を張るセイルドリルでも市民の皆様から大きな歓声があがりました。また、全国の「みなとオアシス」による、Seaである海の食材を使ったグルメ大会「第3回みなとオアシス Sea 級グルメ全国大会 in 苫小牧」を7月13日と14日に、「キラキラ公園」において開催しました。

これは、港を活用した街づくりを目指す「みなとオアシス」が、地元の港で水揚げされた海産物などの名産品を用いてつくられた飲食物でグランプリを目指し、全国から16チームの「みなとオアシス」が参加して開催されました。

大会では、完売が相次ぐほどの盛況となり、同時に「記念演奏会」も開催し、期間中の来場者数も63,000



人となり、皆さんで開港 50 周年を祝っていただきました。

「開港 50 周年記念式典・祝賀会」

苫小牧港の開港 50 周年を祝し、7月16日に、今後より一層の苫小牧港の発展を祈念して、国や関係自治体、関係各港、各級議員、港湾関係業界をはじめ205名の出席を得て、記念式典を開催しました。

また、祝賀会につきましても、式典に引き続き190名の出席により開催されました。



苫小牧港開港 50 周年「記念冊子と記念 DVD」の作成

世界初の大規模掘り込み式港湾「苫小牧港」の築港から開港 50 周年までの歩みと、人々の叡智と情熱をとりまとめた記録です。(苫小牧港開港 50 周年のホームページからも見れます。)

記念事業の詳細等につきましては、「苫小牧港開港 50 周年」ホームページをご覧ください。
URL : <http://www.jpmtk.com/tomakomaikou50th/index.html>